

## 関係年表

和暦	西暦	主な出来事
延享2	1745	富安栄重が濁酒造りを始める、「泉屋」後の「 <b>花の露</b> 」
宝暦元	1751	7代久留米藩主有馬頼隆が若津港開港
文政12	1829	江頭太郎左衛門、濁酒造りを始める、後の「清波」
天保年間	1830～44	天保年間、「 <b>鷹正宗</b> 」創業
嘉永3	1850	首藤重之進が濁酒造りを始める、「池屋」後の「有薫」
安政元	1854	「 <b>瑞穂錦</b> 」創業
万延元	1860	平田栄が酒造業を始める、後の「甘露」
文久3	1863	中村正助が酒造業を始める、後の「帝国一」
明治8	1875	榎下工場「清竹」が創立 蒲池源蔵「 <b>池亀</b> 」創業 ※ <b>首藤裕紀</b> 、長崎で灘などの酒を視察し <b>醸造法改善の必要性</b> を同業者へ説く
明治9	1876	「 <b>清力酒造</b> 」（現「蔵内堂」）創業
明治10	1877	西南戦争特需始まる
明治13	1880	<b>三漕酒造組合が酒造家16名で組織される</b>
明治14	1881	灘・堺の先進地視察、灘酒の品質の高さに驚く ※ <b>首藤裕紀</b> 、同業者2名と共に酒販売のため、東京へ赴く
明治19	1886	<b>灘より杜氏等を招聘</b> 、酒質の向上を図るも難航する
明治23	1890	<b>暖地軟水仕込みの普及</b> により酒質が向上する
明治25	1892	「 <b>万年亀</b> 」創業
明治26	1893	今村酒造「万代鏡」 広瀬酒造「広沢」創業
明治27	1894	三又村に鐘ヶ江銀行設立
明治28	1895	「 <b>比翼鶴酒造</b> 」創業 <b>三漕酒造研究所</b> を設立
明治29	1896	鐘ヶ江銀行が株式会社 <b>三漕銀行</b> と改称、 <b>若津に移転</b> する 三漕酒造研究所各地で受賞する
明治30	1897	「 <b>筑紫の誉</b> 」創業 三漕酒造研究所が第4回内国博覧会で有功一等金牌を受賞する
明治31	1898	「 <b>杜の蔵</b> 」創業 周辺町村を含め酒造家85軒に増加 田中酒造場「正亀」後の「民盛」創業 鷲頭工場「稲の壽」創立 九州セメントが酒造家宇都宮正により設立（大川市浜口）
明治33	1900	「 <b>旭菊</b> 」創業 三漕杜氏組合が創立される
明治35	1902	日清戦争後の不景気により、酒造家が半減する
明治37	1904	日露戦争による酒需要増加
明治39	1906	大蔵省醸造試験所「灘及び城島酒造法報告書」発行
明治40	1907	財団法人三漕醸造試験所開設 全国清酒品評会で、 <b>首藤精</b> 「青春」（有薫）など3名が選出される
明治41	1908	大川馬車軌道株式会社が設立
明治42	1909	大川馬車軌道株式会社、大川軽便鉄道株式会社となる
明治43	1910	鐘ヶ江酒造工場「一力」後の「大空」創業
明治44	1911	首藤合名会社が設立 宇都宮合名会社「一鶴」が登記される
明治45	1912	<b>大川軽便鉄道</b> 、久留米縄手～若津間 <b>営業開始</b> 三漕郡杜氏組合が再組織される 富安合名会社が設立される
大正2	1913	大川軽便鉄道株式会社、大川鉄道株式会社へ社名変更
大正9	1920	財団法人三漕醸造試験場が閉鎖される
大正10	1921	<b>城島簡易水道協同組合</b> が酒造家8軒により設立される 三漕銀行城島支店開店 大川鉄道が若津から榎津まで路線延長
大正11	1922	「 <b>若波</b> 」創業
大正12	1923	城島簡易水道布設工事が竣工する 城島簡易水道協同組合を城島水道株式会社と改称する <b>福岡県立三漕中学校開校</b> （後の「福岡県立 <b>三漕高等学校</b> 」）
大正14	1925	三漕銀行、十七銀行に吸収合併される
昭和11	1936	城島水道株式会社、簡易水道を久留米上水道と接続する
昭和12	1937	三漕酒造研究所、城島酒造株式会社へ改称する 九州鉄道株式会社が <b>大川鉄道</b> を合併し、九州鉄道大川線となる
昭和17	1942	戦局の悪化から企業整理令が出され、酒造工場は34軒から14軒へ減少する 合併により西日本鉄道株式会社大川線となる
昭和26	1951	西日本鉄道株式会社、大川線の無期限運休を決定
昭和33	1958	NHKのど自慢大会全国大会で初めて <b>筑後酒造り唄</b> が歌われる
昭和41	1966	西日本鉄道株式会社、大川線の廃線を決定
平成元	1989	町民の森公園に「酒造りの情景壁画」完成（ <b>一木軍盛ステージ版画</b> ）
平成7	1995	<b>第一回「城島酒蔵びらき」開催</b> 酒蔵とせせらぎのポケットパーク完成
平成8	1996	酒蔵寄席とコンサートが開催される
平成16	2004	筑後酒造り唄、福岡県教育文化賞受賞
平成27	2015	城島の酒「 <b>栄</b> 」誕生
令和5	2023	「 <b>城島酒蔵ものがたり</b> 」筑後川遺産登録第1号となる



酒しぼり三人男（一木軍盛版画集）



酒蔵のある町並み（一木軍盛版画集）



江島港



大川鉄道

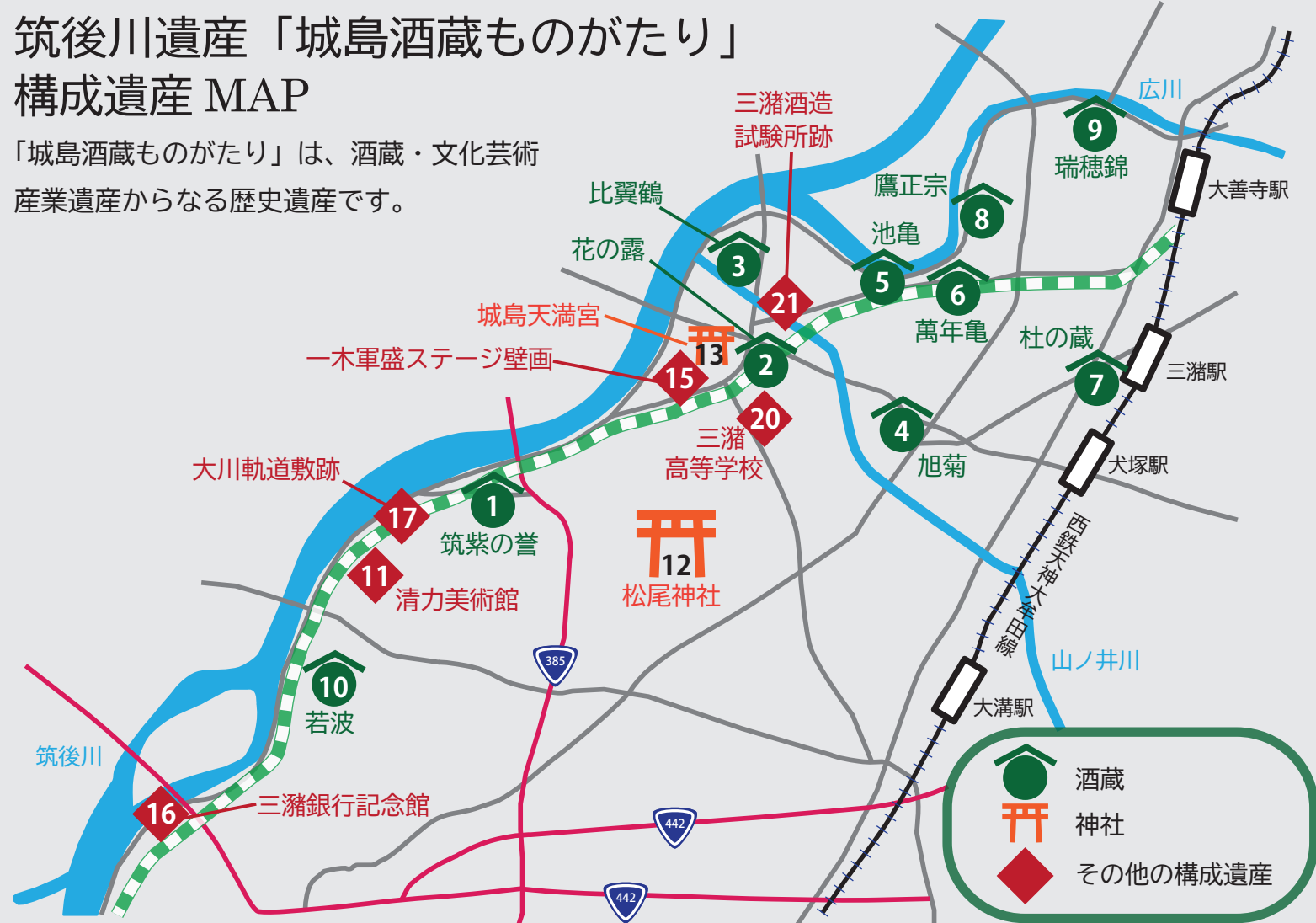


城島酒蔵びらき

CHIKUGO RIVER HERITAGE KURUME  
**筑後川遺産**

## 筑後川遺産「城島酒蔵ものがたり」 構成遺産 MAP

「城島酒蔵ものがたり」は、酒蔵・文化芸術  
産業遺産からなる歴史遺産です。



構成遺産の名称	所在地	所有者	備考
1 筑紫の誉	城島町	筑紫の誉酒造(株)	酒蔵
2 花の露	城島町	(株)花の露	酒蔵
3 比翼鶴	城島町	比翼鶴酒造(株)	酒蔵
4 旭菊	三漕町	旭菊酒造(株)	酒蔵
5 池亀	三漕町	池亀酒造(株)	酒蔵
6 万年亀	三漕町	万年亀酒造(株)	酒蔵
7 杜の蔵	三漕町	(株)杜の蔵	酒蔵
8 鷹正宗	大善寺町	鷹正宗(株)	酒蔵
9 瑞穂錦	大善寺町	瑞穂錦酒造(株)	酒蔵
10 若波	大川市大字鐘ヶ江	若波酒造(名)	酒蔵
11 清力美術館	大川市大字鐘ヶ江	大川市	蔵元創設
12 松尾神社	城島町	神社庁	酒造りの神様
13 城島天満宮	城島町	神社庁	祈釀祭
14 筑後酒造り唄保存会	荒木町	保存会	筑後酒造り唄
15 一木軍盛ステージ版画	城島町	久留米市	町民の森公園
16 三漕銀行記念館	大川市大字向島	三漕銀行記念館	蔵元創設
17 大川軌道敷跡	城島町・三漕町	久留米市	蔵元創設
18 ウナギ料理	大善寺町・城島町	ウナギ料理店	ウナギ料理店
19 一木軍盛版画集	城島町	城島観光検討会	筑後城島酒蔵百景
20 旧制三漕中学校	城島町	福岡県	現三漕高等学校
21 三漕醸造試験所跡	城島町	比翼鶴酒造(株)	

令和6年3月31日

◆発行  
久留米市教育委員会

◆編集  
久留米市西部ツーリズム協議会

◆問い合わせ

久留米市 市民文化部 文化財保護課

TEL 0942 (30) 9322

FAX 0942 (30) 9714

E-mail bunkazai@city.kurume.lg.jp



久留米市 HP  
筑後川遺産とは



歴史のまち久留米  
ストーリーシート